

子供も教職員も保護者も地域も『幸せ』な学校を目指しています！

向山通信

2月号

令和4年 1月31日



向山小学校の教育目標：○やりぬく子 ○思いやりのある子 ◎よく考える子

「好きだ」と思えるもの、「夢中になれるもの」を一つ

副校長 高松由貴

連日、スポーツ選手の様々なニュースを耳にします。そのような中で、1月14日に、体操の内村航平選手が、引退記者会見を行いました。

内村選手は体操一家に生まれ、両親が体操教室を開くなど、生まれたときから大変恵まれた環境で育ってきたかのように見えます。しかしながら、意外なことに中学までの内村選手は、特に目立った成績を残してはいません。中学卒業後は、両親の反対を押し切って上京し、他の体操クラブで指導を受けるようになり、頭角を現していったというのですから、なかなかの苦労人でもあります。その後、北京五輪を皮切りに、世界体操とオリンピックを合わせ、長年世界のトップに立ち続けた内村選手ですが、最後の数年は怪我と闘いながらの競技人生でもありました。

引退記者会見後に記者から問われた「一番思い出深い技は何か」という質問に対して、内村選手は、小学校1年生か入学する少し前に覚えた「蹴上がり」という技を挙げています。子供たちの「鉄棒カード」の中で紹介されていることでもあります。蹴上がりは、鉄棒にぶら下がった状態から両足で空を蹴り、その反動で上半身を棒上に上げる技で、小学生ではとても難易度の高い技です。

「僕は技を覚えるのが遅いほうだったので、蹴上りを覚えたときの感動が今でも忘れられないんですよ。技を覚えて一番うれしくて、楽しかった記憶があるからこそ、その後500程の技を習得できる原動力になった。僕の礎になっている技ですね。」(内村航平)

このような経験は、誰にでもあるのではないのでしょうか。私自身も初めて自転車に乗れるようになった瞬間のこと、初めて泳げるようになったときのことは今でも鮮明に覚えています。そして仕事柄、担任時代は、子供たちの「できた！」や「分かった！」に立ち会う機会も多くありました。初めてできた「逆上がり」「二重跳び」「台上前転」に算数の解法。子供たちは目をキラキラさせて、報告に来たものです。

内村選手は、全子供たちへのメッセージとして、さらに続けます。

「何でもいいので『好きだ』と思えるものを一つ見つけることが、何事においても一番大事だと僕は体操を通じて学んできました。夢中になってやり続ければ、例えば勉強や習い事といったものにも、こうして頑張れば良いといった具合に変換できるので。」

小学生のうちに、自身の明確な進路を見出すのは難しいことです。しかし、小学校時代にその土台となる経験を積むことはできると思うのです。まずは「好きなもの」「夢中になれるもの」を一つ見つけるところから始めてみませんか。

2月行事予定

- 2日(水) オンラインによる社会科見学(日産)5年
- 4日(金) 安全指導日
- 7日(月) 新1年生保護者会
- 9日(水) 4時間授業
- 10日(木) 校内書き初め展終
- 11日(金) 建国記念の日
- 12日(土) 土曜授業日 親子スマホ教室6年
- 16日(水) クラブ活動 Jアラート伝達試験
- 18日(木) 社会科見学3年 向山スクール
- 21日(月) お米の学校5年
- 23日(水) 天皇誕生日
- 25日(金) 6年生を送る会

*2・3月の避難訓練は
予告なしで行います。

《3月の行事予定》

- 1日(火) 保護者会3・4年
- 2日(水) 安全指導日 委員会活動
- 3日(木) 保護者会1・2年
- 4日(金) 保護者会5・6年

*コロナウイルスの感染状況によっては、中止等の予定変更になる場合があります。

◆生活目標

「寒さに負けず元気に遊ぼう」

◆あいさつ目標

「できるかな？」

その場に合ったことばづかい」

◆保健目標

「こころの健康を考えよう」

◆給食目標

「すききらいしないで食べよう」

校内研究

昨年度に引き続き、「国語科」の校内研究に取り組んでいます。「思考力・判断力・表現力」の育成は、向山小の子供たちの重点課題であり、学校の教育目標である「よく考える子」に直結します。そこで研究主題を『自分の考えをもち、豊かに表現する子の育成 ～「文学的文章を読むこと」の活動を通して～』と設定し、講師にご指導いただきながら、教職員全体で研究を進めました。低・中・高学年の計6回の研究授業や日々の実践の中で、児童はタブレットパソコンで交流したり、ハートメーカーやペーパーサートを活用したりして、自分の考えを表現できた喜びを味わう体験を積み重ねました。その中で、児童の「表現したい」「伝えたい」という意欲の高まりを感じることができました。

今年度の研究をさらに生かしたり、発展させたりし、子供たちが主体的に自分の考えをもち、豊かに表現できるように努めてまいります。

研究主任

1年生の窓

真冬の寒さが連日続いていますが、1年生は元気いっぱい学習や運動に取り組んでいます。

1月には、初めての書き初めに取り組みました。姿勢や鉛筆の持ち方に気をつけて一文字一文字丁寧に書きました。最初は文字を抜かしたり、間違えたりしていた子供たちでしたが、回数を重ねるにつれてお手本の字を意識した字を書くことができるようになりました。

最近では、生活科の時間に昔遊びに挑戦しています。こまやけん玉・羽つき・お手玉などの昔から伝わる遊びを体験し、その楽しさに触れています。休み時間にも練習する時間をつくり、うまくいなくても何度も挑戦しています。あきらめずに粘り強く取り組むことの大切さを学んでほしいです。

進級まであと2ヶ月。向山小の立派な2年生となるよう指導を続けていきたいと思っております。

1年担任

朝の見守り活動について

長年にわたり朝の見守り活動を続けてくださった様、様、様に代わり、12月より様、様が活動を引き継いでくださっています。見守り場所は2箇所、向山2丁目の向山住宅2号館の角、目白通りの関東マツダ練馬豊島園店前の横断歩道です。

子供たちの安全のために、ご尽力いただいています。登校時には、子供たちが自分から「おはようございます」「ありがとうございます」「いってきます」等の挨拶ができるようにしたいです。できるようにしたいです。